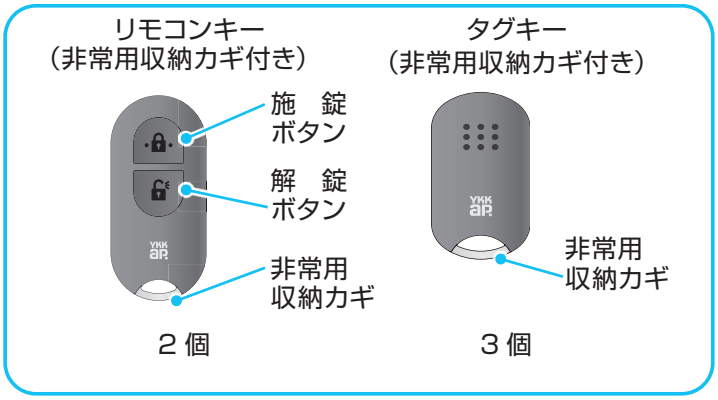
各部の名称

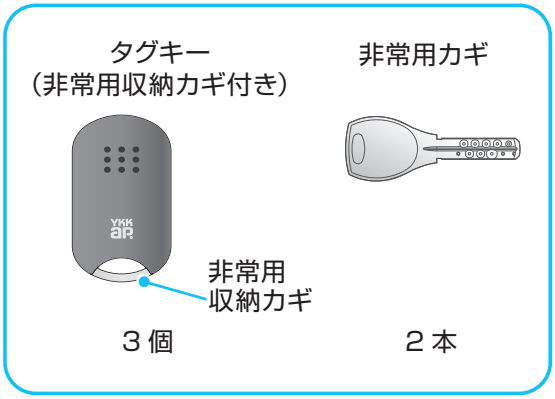
スマートコントロールキーの部品･部材など、各部の名称を示しています。本書を読む前にご確認ください。

■ カギ

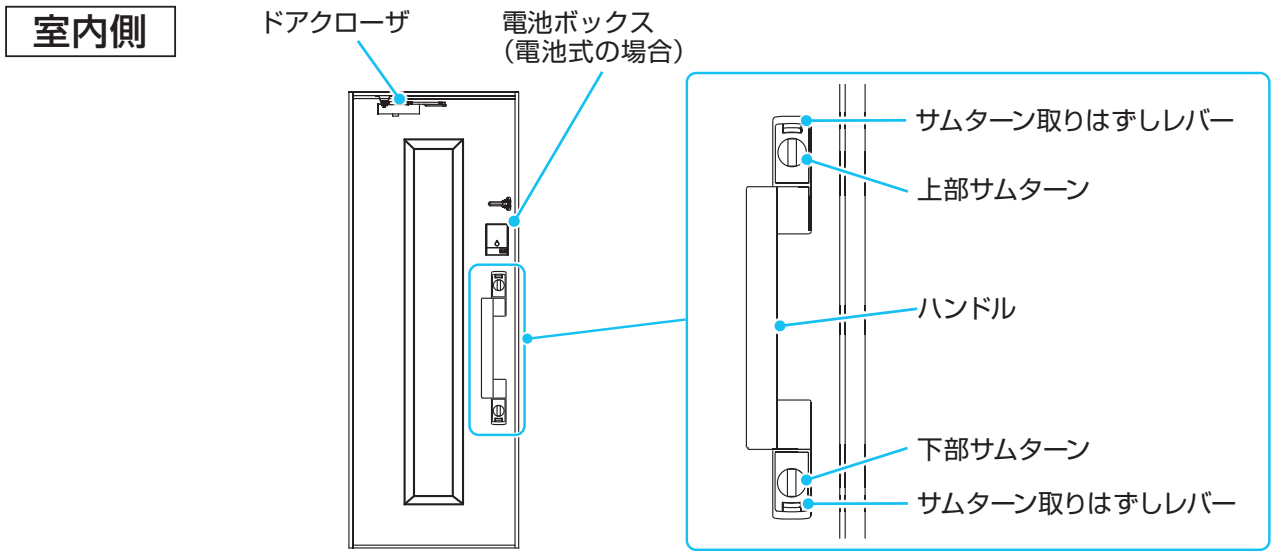
ポケットキー

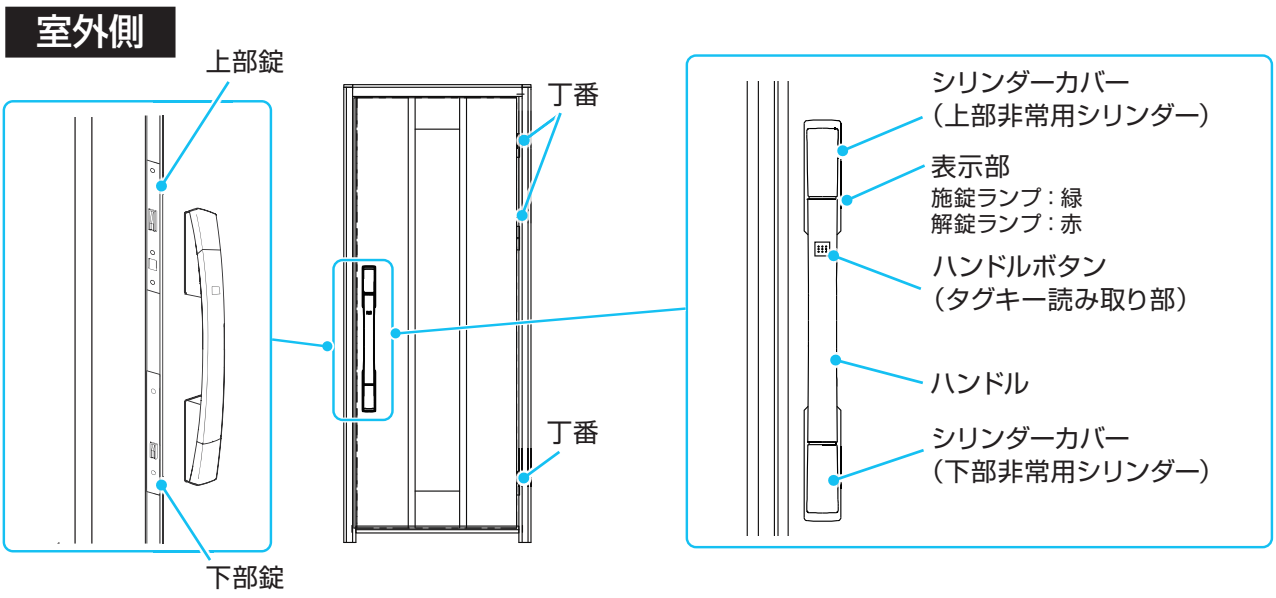


ピタットキー



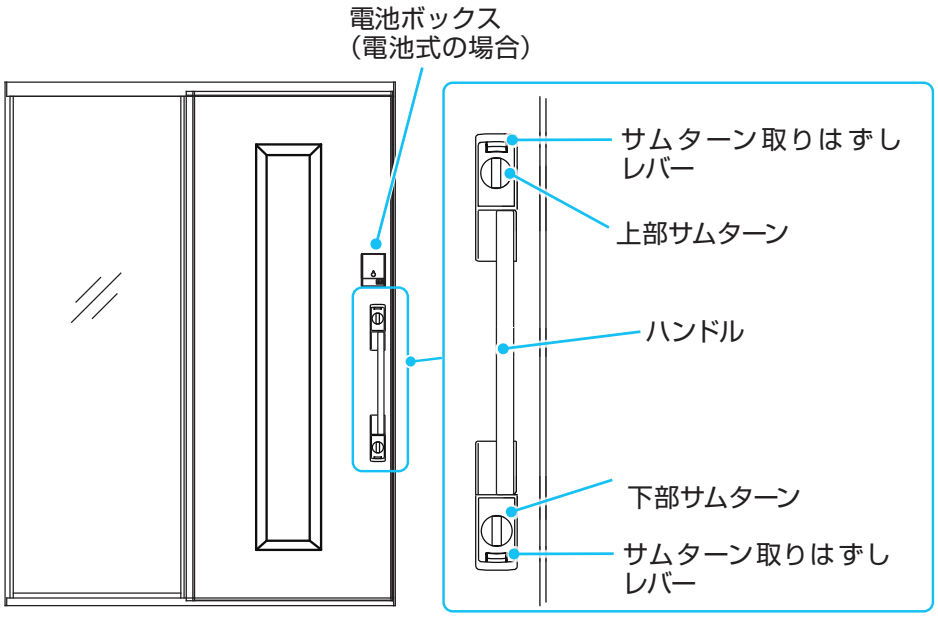
■ 玄関ドア



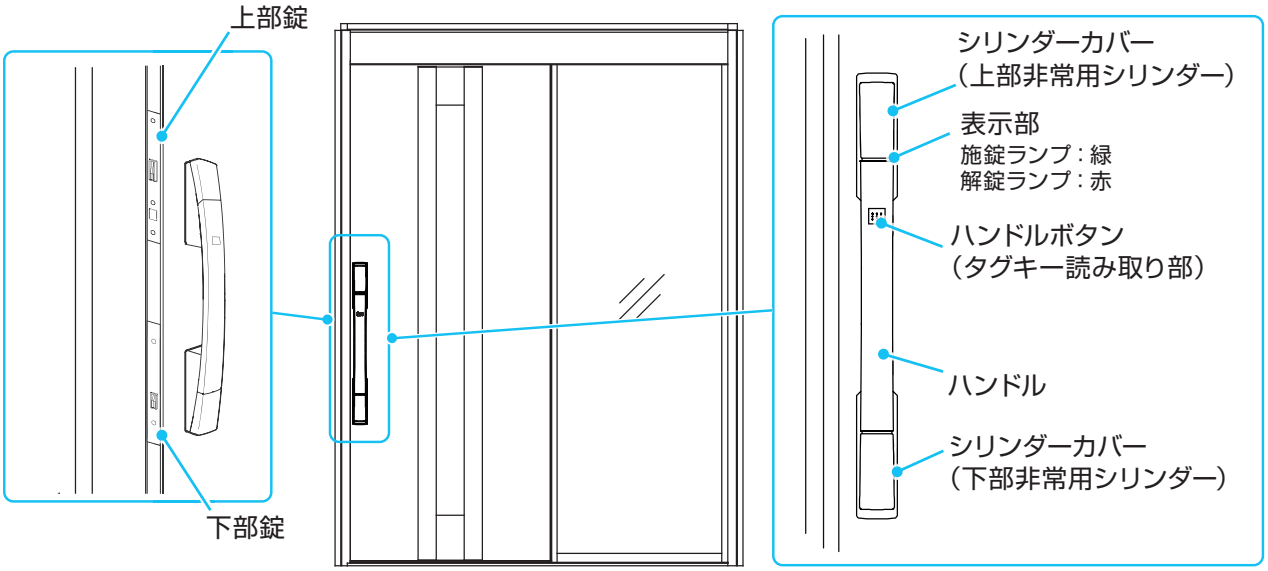


■ スライディングドア

室内側



室外側



ご使用になる前に

ご使用前に確認してください

●必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

保証書の登録

保証書の登録
はこちら

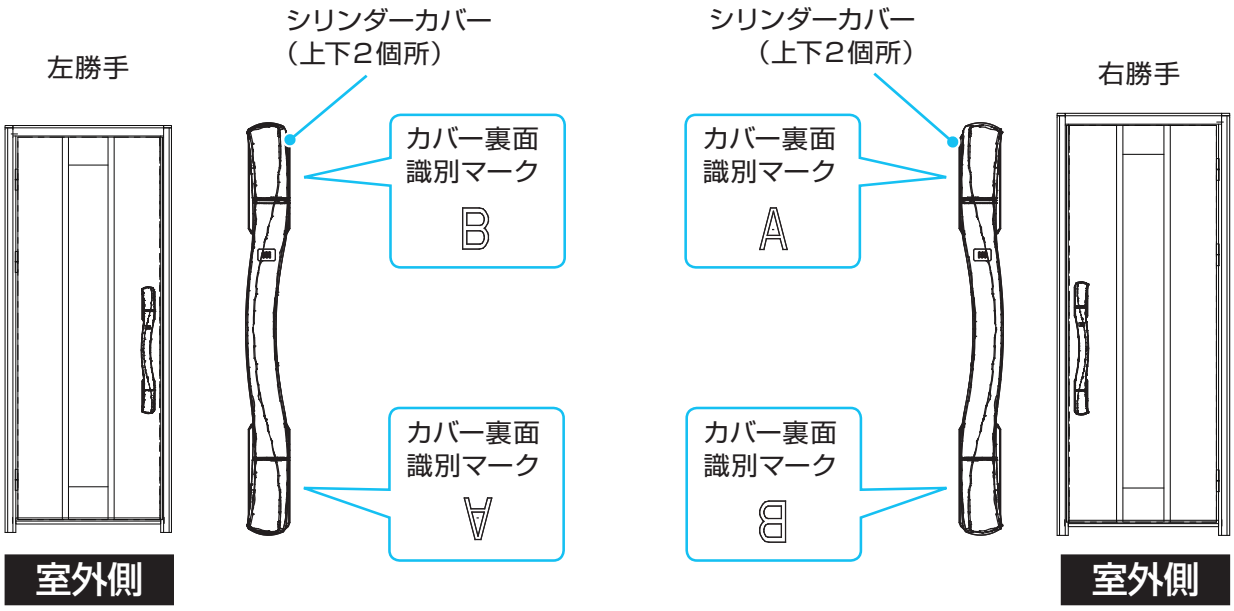
- こちらから保証書登録を行うことによって、保証期間が1年から2年に延長されます。
- 当社ホームページからも保証書登録が行えます。
- 登録の際は、あらかじめ「電装商品保証登録票」をお手元にご準備ください。

シリンダーカバーの取り付け

・シリンダー（かぎ穴）を見えないようにするため、ハンドルにシリンダーカバーを取り付けてご使用ください。

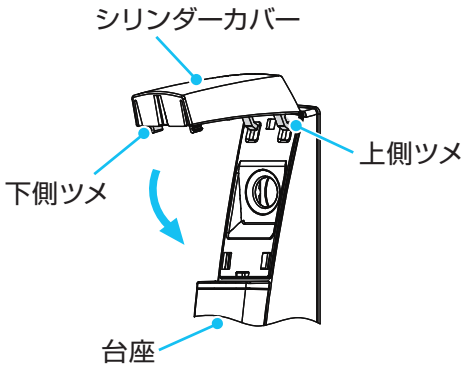
・洋風カーブハンドルは、シリンダーカバー裏面の識別マークを確認してから取り付けてください。
洋風カーブハンドルは、玄関ドアの場合のみとなります。

洋風カーブハンドル



1 シリンダーカバーを台座にセットする

シリンダーカバーの上側ツメを台座に差し込んで、回転させながら下側ツメを台座に押し込みます。

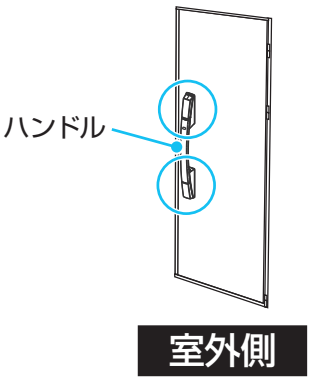


工事用カギの無効化

ご使用になる前に非常用収納カギまたは非常用カギで施解錠操作を行ってください。

※工事用カギとは、工事業者が工事期間中に出入りするための専用のカギです。

一度でも非常用収納カギまたは非常用カギを使用すると、工事用カギは無効化され、使用できなくなります。

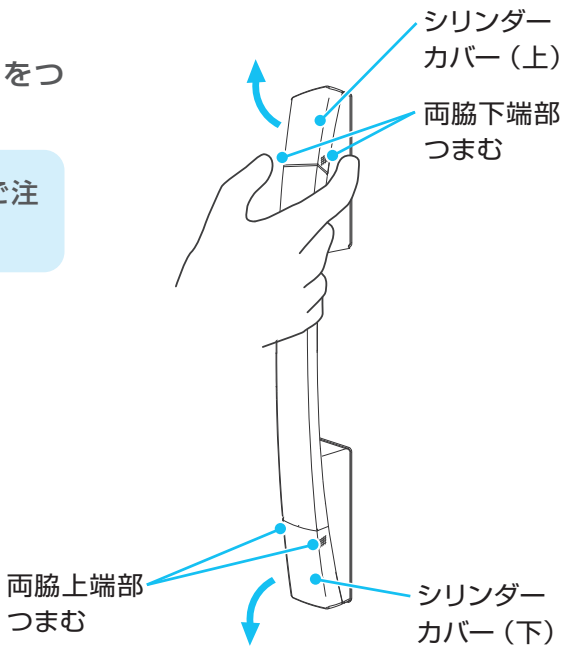


●防犯配慮のため、必ずお施主様ご自身で工事用カギの無効化を行ってください。

1 シリンダーカバーをはずす

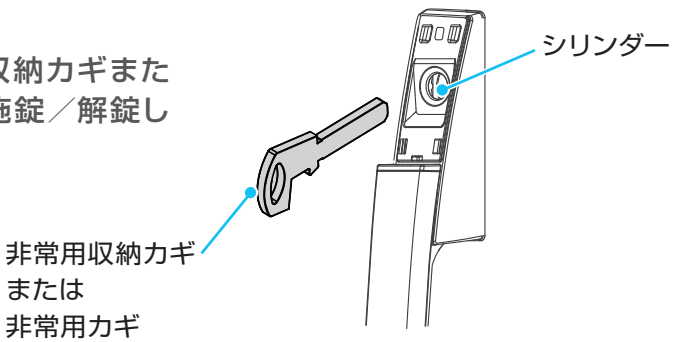
上下のシリンダーカバーの両脇端部をつまんではずします。

●シリンダーカバーを落とさないようご注意ください。



2 施錠／解錠する

上下のシリンダーに非常用収納カギまたは非常用カギを差し込んで施錠／解錠します。



非常用収納カギの取り出し方／戻し方

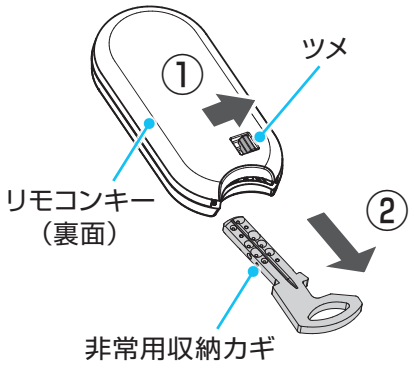
- ポケットキー／ピタットキーに付属しているリモコンキー／タグキーには非常用収納カギが装着されています。
- 停電や電池切れなどの非常時に、非常用収納カギを取り出し、手動で施錠／解錠できます。
- 不測の事態に備えてリモコンキー／タグキーは非常用収納カギを取り付けた状態で携帯してください。

■取り出し方

1 非常用収納カギを引き抜く

リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。

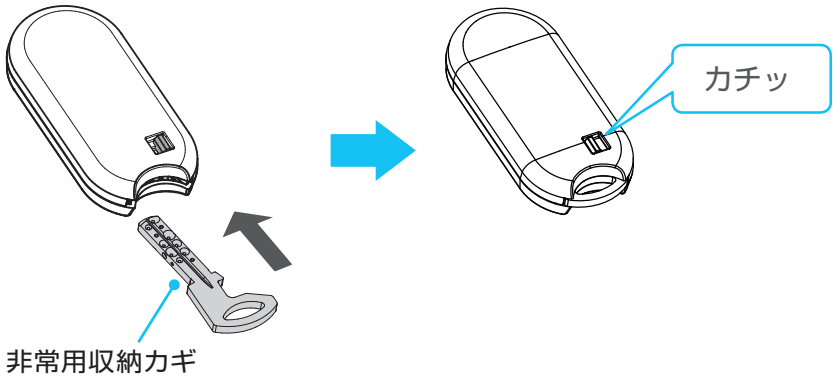
●非常用収納カギでの施錠／解錠方法は「停電／電池切れの場合（➡P.152）」を参照してください。



■戻し方

1 非常用収納カギを差し込む

非常用収納カギを「カチッ」と音が鳴るまで差し込みます。



電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）

■電池の入れ方／交換方法

使用電池……単3形アルカリ乾電池　4本（リチウム乾電池も使用可）

- 充電式・マンガン乾電池を使用しないでください。誤作動の原因となります。
- 電池を交換する場合は、4本すべてを新品に交換してください。
  古い電池に交換した場合、電池消耗警告が消えないことがあります。また、新しい電池と古い電池、銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
  電池の液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。
- 電池は、電池の極性（＋／－）を確認して、電池ボックス内の極性（＋／－）の表示と同じ方向に正しく入れてください。
- 濡れた電池を使用しないでください。
- 電池交換の際、電池の脱着等にドライバーなどの電気を通す金属製のものは使用しないでください。
- 電池ボックスにあらかじめ入っている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっているおそれがあります。ご使用になる前に電池を交換することをおすすめします。

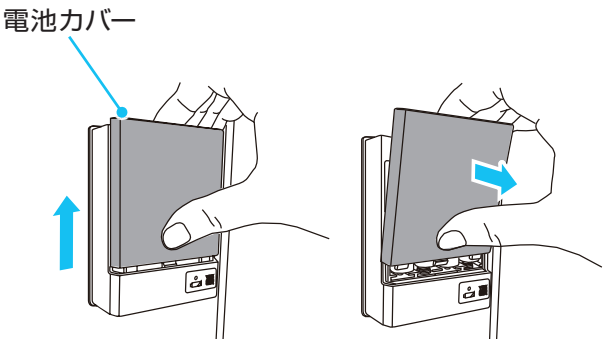
1 電池カバーを取りはずす

電池ボックス：デザインA

電池ボックスの電池カバーを、溝部を押しながら少し上げ手前に引いてはずします。

- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。

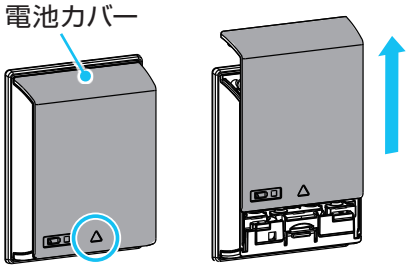




電池ボックス：デザインB

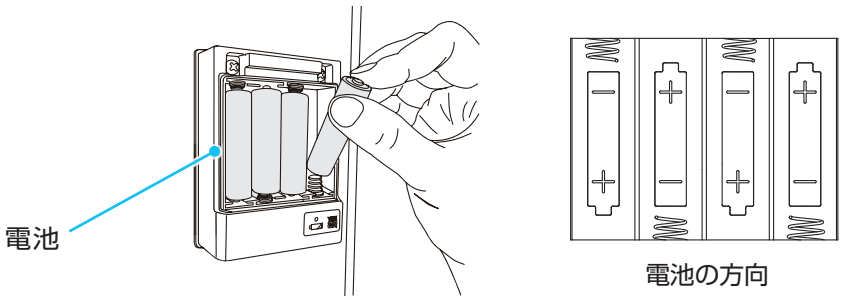
電池ボックスの電池カバーを、○部を指で押さえながら電池カバーを上にスライドしてはずします。

- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



2 電池を入れる

電池を交換する場合は、古い電池をはずします。
次に、新しい電池を電池ボックスの表示(+／−)と同じ方向に正しく入れます。

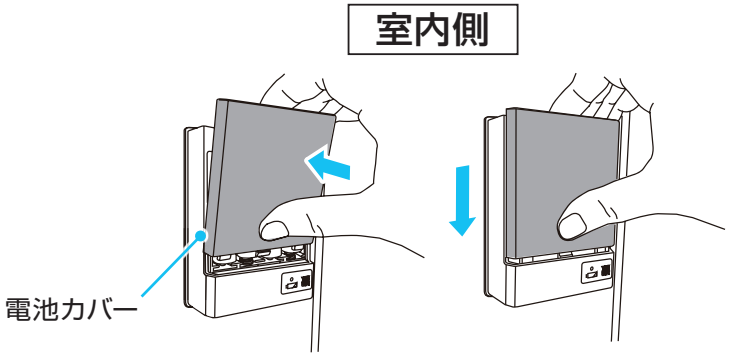


3 電池カバーを取り付ける

電池ボックス：デザインA

手順1と反対の手順で電池カバーを取り付けます。

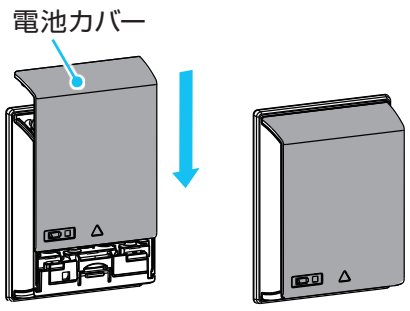
●電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



電池ボックス：デザインB

手順1と反対の手順で電池カバーを取り付けます。

●電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



リモコンキーの電池の交換時期と交換方法

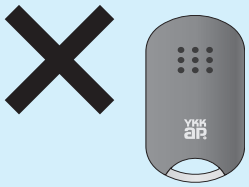
⚠警告

［禁止］

リモコンの電池交換の際は、はずしたコイン形リチウム電池を放置しないでください。小さなお子様が、コイン形リチウム電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

● タグキーは、電池を使用していないため電池交換は不要です。

タグキー



- リモコンキーにあらかじめ内蔵されている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっているおそれがあります。ご使用になる前に電池を交換することをおすすめします。
- リモコンキーの交換用電池は、コイン形リチウム電池CR2032です。
  この電池はカメラ店、家電販売店、ホームセンターなどでお買い求めになれます。

交換用電池
CR2032



■電池の交換時期

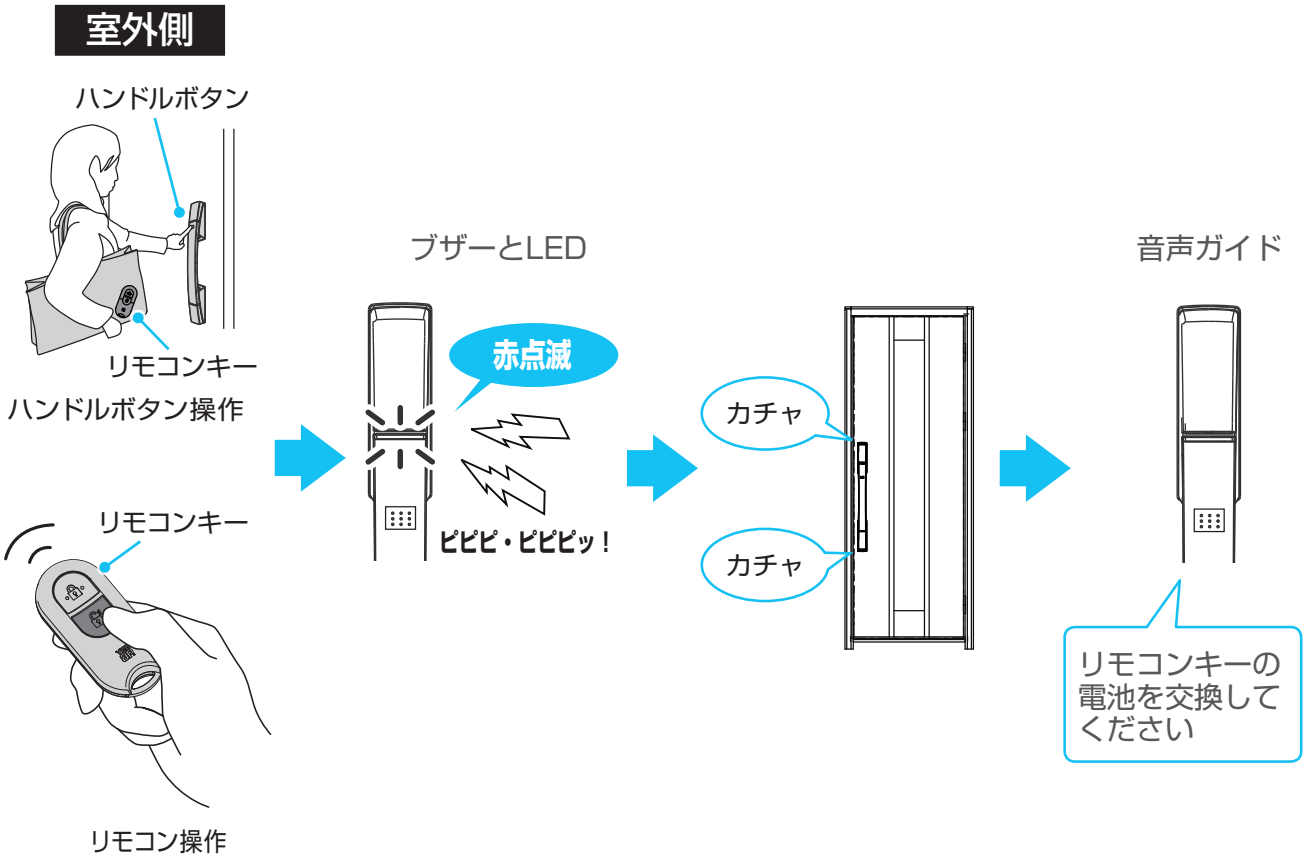
● リモコンキーの電池寿命は、約 1 年（1 日約 10 回操作を想定）です。
※電池の寿命は、使用頻度や使用環境により異なる場合があります。

● リモコンキーの電池が完全に消耗すると、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなります。電池交換のお知らせが出たら、直ちに電池交換を行ってください。万が一の場合は、非常用収納カギや非常用カギで施錠 / 解錠を行ってください。（➡ P.152 ）

■電池の交換時期のお知らせ

- 電池は、低温環境で一時的に電池電圧が下がる特徴があります。
  リモコンキーを寒い場所で保管、使用すると、施錠 / 解錠操作の際、一時的に電池交換のお知らせが出ることがあります。この場合、暖かい場所で保管、使用することで電池電圧が復帰し、お知らせが止まります。
- 電池が消耗していると、急激な温度変化により電池交換のお知らせが出ずに、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなる場合があります。
  安心してご使用いただくため、電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約 1 年を目安に電池交換を行ってください。
- 電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約 1 年を目安に電池交換を行ってください。電池の液漏れや腐食により、リモコンキーが故障する場合があります。
- 電池交換のお知らせが出ているリモコンキーの電池をはずし、再度同じ電池を挿入すると、一時的にお知らせが止まります。
  これは、挿入された電池の残量を確認している状態で、電池の残量が回復した訳ではありません。
  必ず新しい電池に交換してください。

- リモコンキーの電池が消耗すると、施錠/解錠操作をする際に、ブザー音とLED、音声ガイドでお知らせしますので、電池交換を行ってください。
  ※施錠/解錠操作の際、電池交換のお知らせが出てもドアは施錠/解錠されます。
  ※音声ガイドは、施錠/解錠が終わった後に流れます。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、必ず「■電池の交換方法」（➡P.27）に従って電池交換を行ってください。

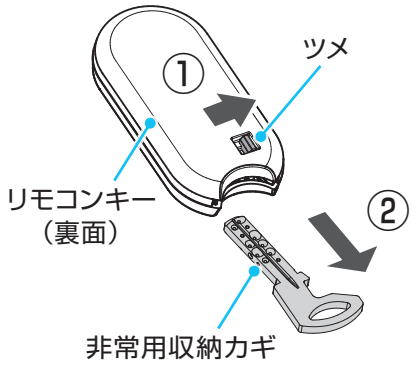


■電池の交換方法

- 基板に触れたり・はずしたりしないでください。
- 電池を取りはずす際は、ドライバーなどの電気を通す金属製のものは使用しないでください。
- 電池は、プラス（＋）側を上にしてください。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、電池交換の際は、次のことにご注意ください。
  - ・電池交換を行う際は、一度、金属に触って、体に帯電している静電気を逃がしてから行ってください。帯電した状態で電池交換を行うと、静電気により電子部品が故障する場合があります。
  - ・濡れた手や汚れた手で電池交換を行わないでください。

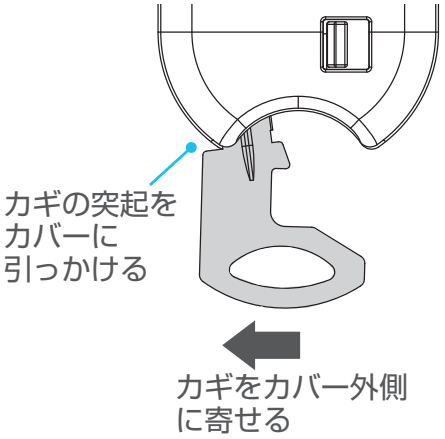
1 非常用収納カギを引き抜く

リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。



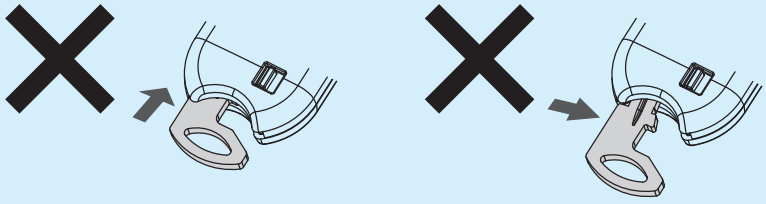
2 非常用収納カギを差し込む

右図の位置に非常用収納カギを差し込みます。



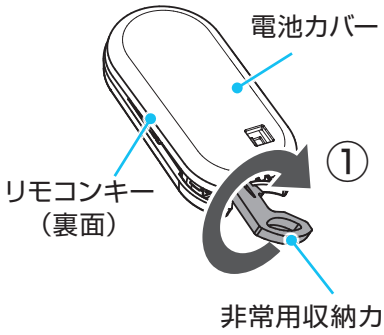
お願い

- カバーが開けにくくなりますので、非常用収納カギを深く挿入し過ぎたり、カバー中央に寄せたりしないでください。

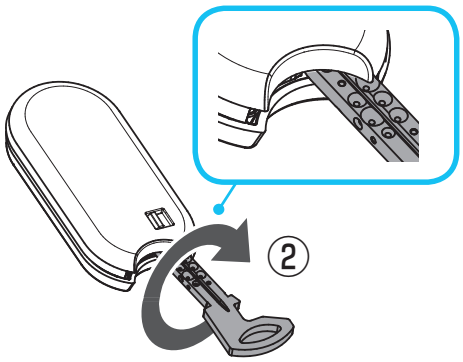


3 電池カバーを取りはずす

①差し込んだ非常用収納カギを時計回りにまわします。

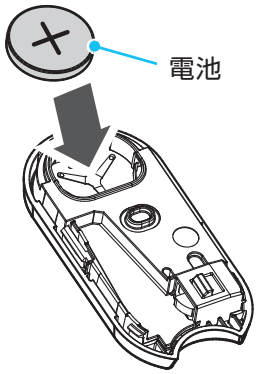


②反対側にも非常用収納カギの先端を差し込み、時計回りにまわして電池カバーをはずします。



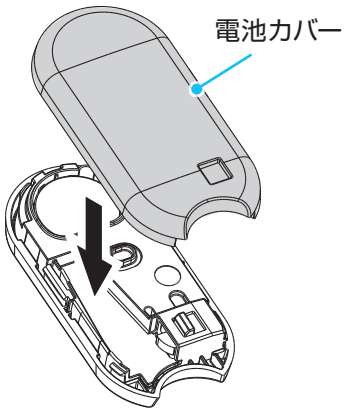
4 電池を入れる

電池を取り出し、新しい電池を入れます。



5 電池カバーを取り付ける

電池カバーを取り付け、非常用収納カギを元の位置に戻します。



電池ボックスの電池の交換時期と交換方法（電池式の場合）

■電池の交換時期

- 電池式の場合、電池ボックスの電池が完全に消耗すると作動しなくなります。
- 電池は、約 1 年で交換になります。(1 日 10 回操作した場合)

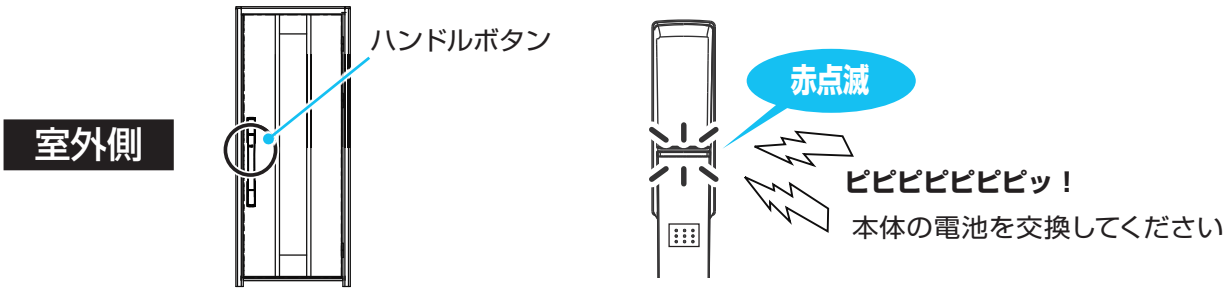
※電池交換時期は、使用頻度や使用環境により異なります。特に寒冷地など気温の低い環境下では電池寿命が短くなる場合があります。

■電池の交換時期のお知らせ

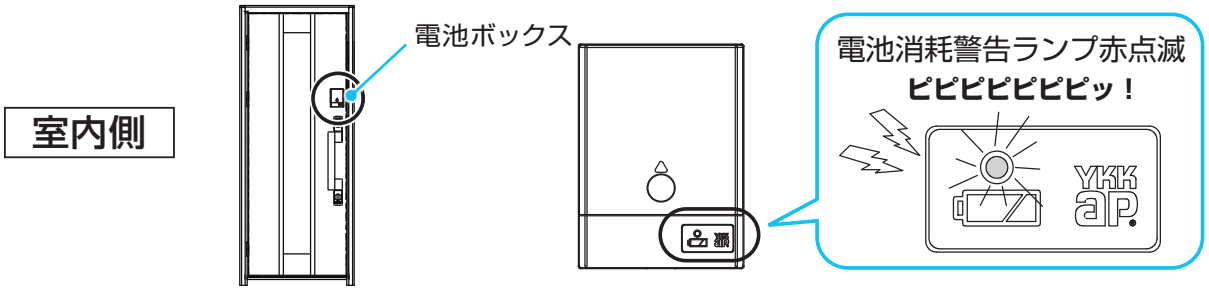
- 電池が消耗し、交換時期が近づくと、電池消耗警告ランプの点滅と音声でお知らせします。
- 電池が消耗している際、次の施解錠操作を行うと警告音「ピピピピピピピッ！（7回)」と音声ガイド「本体の電池を交換してください」で、電池の交換時期をお知らせします。
  - ・タグキー / リモコンキー / スマートフォンでの施解錠操作
  - ・サムターン / 非常用カギ / 非常用収納カギでの施解錠操作
  - ・ピッキング防止機能 / タイマー施錠機能 / 自動施錠機能による施錠動作

  （➡ P.33 、P.39 、P.36 ）
- 音声ガイドは、お知らせが開始してから２０回の施解錠動作まで流れ、以降は流れません。

タグキー/リモコンキー/スマートフォンでの施解錠操作



手動（サムターン/非常用収納カギ/非常用カギ）での施解錠操作、自動施錠



■電池の交換方法

●「■電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）」（➡ P.23）を参照して新品の電池に交換してください。

■電池消耗時の施解錠操作

電池の交換時期のお知らせが開始してから、約100回まで次の電気的な施解錠操作ができます。

・リモコンキー/タグキー/スマートフォンでの施解錠操作
・サムターンでの連動施錠
・自動施錠機能/タイマー施錠機能/ピッキング防止機能による施錠動作

100回を超えた後は、電気的な施解錠ができなくなります。

※サムターン（連動施錠を除く）/非常用カギ/非常用収納カギ による手動での施解錠操作ができます。
※電池ボックスの電池4本すべてを新品に交換すると、復帰します。

電池消耗時、電池の消耗を抑えるため、リモコンキー/スマートフォンの一部の機能に制限がかかります。

●リモコンキー
・リモコン操作の際は、ハンドルボタンを押して操作待ち受け状態にしてから、施錠ボタン / 解錠ボタンを押してください。

●スマートフォン
・リモコン操作の際は、ハンドルボタンを押して操作待ち受け状態にしてから、アプリ画面の施錠ボタン / 解錠ボタンをタップしてください。
・アプリのメイン画面で「近くにドアがありません」と表示されます。

スマートコントロールキーの機能

ご使用前に確認してください

●必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

スマートコントロールキーとは

- リモコンキーを身につけて（ポケットやカバンの中など）ハンドルボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（➡P.148）

※リモコンキーをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。

- リモコンキーの施錠／解錠ボタンを押して、施錠／解錠ができます。（➡P.148）
- タグキーを室外側ハンドルの読み取り部へ近づけることで、施錠／解錠ができます。（AC100V式）（➡P.148）
- ハンドルボタンを押して読み取り待ち受け状態にし、タグキーを室外側ハンドルの読み取り部へ近づけることで、施錠／解錠ができます。（電池式）（➡P.148）
- スマートフォンを身につけて（ポケットやカバンの中など）ハンドルボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（➡P.113）

※スマートフォンをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。

- スマートフォンアプリの施錠／解錠ボタンをタップして、施錠／解錠ができます。（➡P.113）
- スマートフォンアプリでのハンドルボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によってことなります。
  また、スマートフォンの機種によってはご使用になれない機種があります。
  動作確認済みスマートフォンについては、ホームページよりご確認ください。
  https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/

動作確認済み
スマートフォン

- 管理用スマートフォンでキーの管理（登録／削除／名前設定）や各種設定ができます。「本体設定・カギの管理について」（➡P.125）
- 万一、リモコンキーやタグキーを破損・故障した場合は、非常用収納カギや非常用カギによる操作で施錠／解錠ができます。（➡P.152）
- 上部錠と下部錠の2ロックで施錠／解錠を行います。（「■連動施錠」（➡P.33））
- LEDの光と音で、施錠／解錠動作をお知らせします。
- リモコンキーは最大8個まで登録することができます。
- タグキーは最大20個まで登録することができます。
- 管理用スマートフォン2台、一般用スマートフォン5台まで登録することができます。
- リモコンキー／タグキー／スマートフォンは2つ以上のドアに登録することができます。

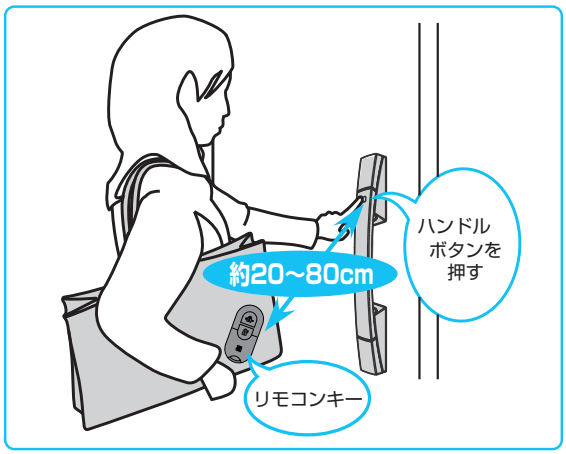
スマートコントロールキーの作動範囲

■リモコンキーの作動範囲

ハンドルボタン操作の場合

- 室外側ハンドルから約20～80cm以内

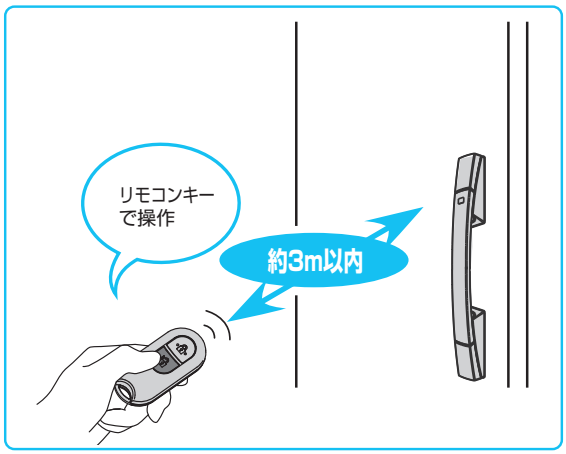
＜操作のイメージ＞



リモコン操作の場合

- 室外側ハンドルから約3m以内

＜操作のイメージ＞

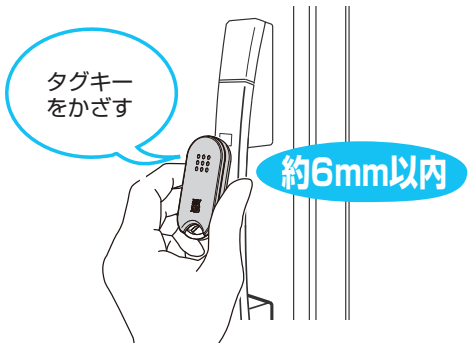


※リモコンキーの作動範囲は使用環境によって異なる場合があります。
詳しくは「知っていただきたい現象」（➡P.17）をご覧ください。

■タグキーの作動範囲

- 室外側ハンドルから約6mm以内

＜操作のイメージ＞



■スマートフォンの作動範囲

※スマートフォンアプリでのハンドルボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によって異なります。
また、スマートフォンの機種によってはご使用になれない機種があります。
動作確認済みスマートフォンについては、ホームページからご確認ください。
https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/

※アプリの設定については、「■ハンドルボタン操作の設定」（➡P.118）をご覧ください。

動作確認済み
スマートフォン

防犯機能

■連動施錠

- 施錠する場合、上部錠と下部錠が連動して施錠します。
- 連動施錠機能は標準仕様です。OFFにすることができません。
- 非常用収納カギまたは非常用カギで上部非常用シリンダーをまわすと、下部非常用シリンダーが連動してまわり、施錠されます。

※下部非常用シリンダーをまわしても上部非常用シリンダーは連動しません。

- 上部サムターンをまわすと、下部サムターンが連動してまわり、施錠されます。

※下部サムターンをまわしても上部サムターンは連動しません。

- 解錠する場合、上部錠・下部錠共に解錠してください。（連動しません）

■ピッキング防止機能

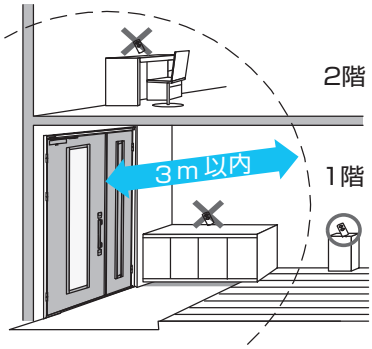
- 外部からの不正解錠を防止する機能です。
- ピッキング防止機能は標準仕様です。OFFにすることができません。
- 上部錠または下部錠のどちらか一方が解錠されてから、50秒以内にもう片方を解錠し、ドアを開けなかった場合、再度自動的に施錠します。
- ピッキング防止機能は、サムターン/非常用収納カギ/非常用カギで解錠した場合も機能がはたらきます。

■置き忘れ防止機能

ハンドル近くにリモコンキーを置き忘れていることをお知らせする機能です。
置き忘れ防止機能は標準仕様です。OFFにすることができません。

- ハンドル近くに数秒以上放置されているリモコンキーがあるときに、室外側ハンドルのボタンが押されると、施錠／解錠がされずに「ピッピッピッ…」と警告音が鳴り、LEDが10秒間点滅し、「リモコンキーの置き忘れがあります」と音声が流れます。
  これはハンドル近くにリモコンキーの置き忘れがあることをお知らせしています。ハンドルボタンを押して警告を止めて、置き忘れているリモコンキーをハンドルから離れた場所で保管してください。
- 室外側ハンドルのボタンを押したとき、自分の持っているリモコンキーが静止していると、置き忘れ防止機能が働き、施錠／解錠されない場合があります。
  このとき、自分の持っているリモコンキーを少し揺らすことで復帰し、警告音が止まり、施錠・解錠されます。
- 置き忘れ防止機能が作動してから、復帰操作をせずに約１０秒経過すると警告音が自然に止まります。このとき、室外側ハンドルのボタンが押されても、置き忘れられたリモコンキーでは一時的に施錠／解錠できなくなります。置き忘れられたリモコンキーの「施錠」ボタンまたは「解錠」ボタンを押すことで復帰し、再びハンドルボタン操作での施錠／解錠ができるようになります。

＜置き忘れ防止機能の作動範囲＞



室内側

●作動範囲
ドアから約３m以内

※使用環境によって作動範囲が異なる場合があります。

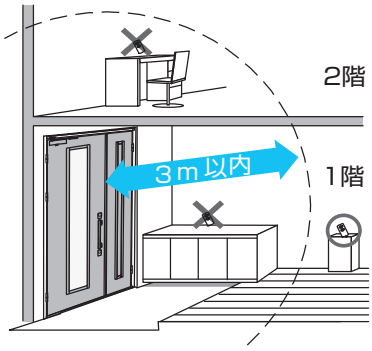
※置き忘れ防止機能が搭載されていますが、防犯上、ドアから約3m以内にリモコンキーを保管しないでください。

■スリープ機能

外部からのハンドルボタン操作防止とリモコンキーの電池消耗を低減する機能です。

- ハンドル近くに数分間放置されたリモコンキーは、室外側ハンドルのボタンを押されても一時的に反応しない状態（スリープモード）となり、ドアは施錠／解錠されません。
- スリープモードとなったリモコンキーは、「施錠」ボタンまたは「解錠」ボタンを押すことで復帰し、再びハンドルボタン操作での施錠／解錠ができるようになります。

＜スリープ機能の作動範囲＞



室内側

●作動範囲
ドアから約３m以内

※使用環境によって作動範囲が異なる場合があります。

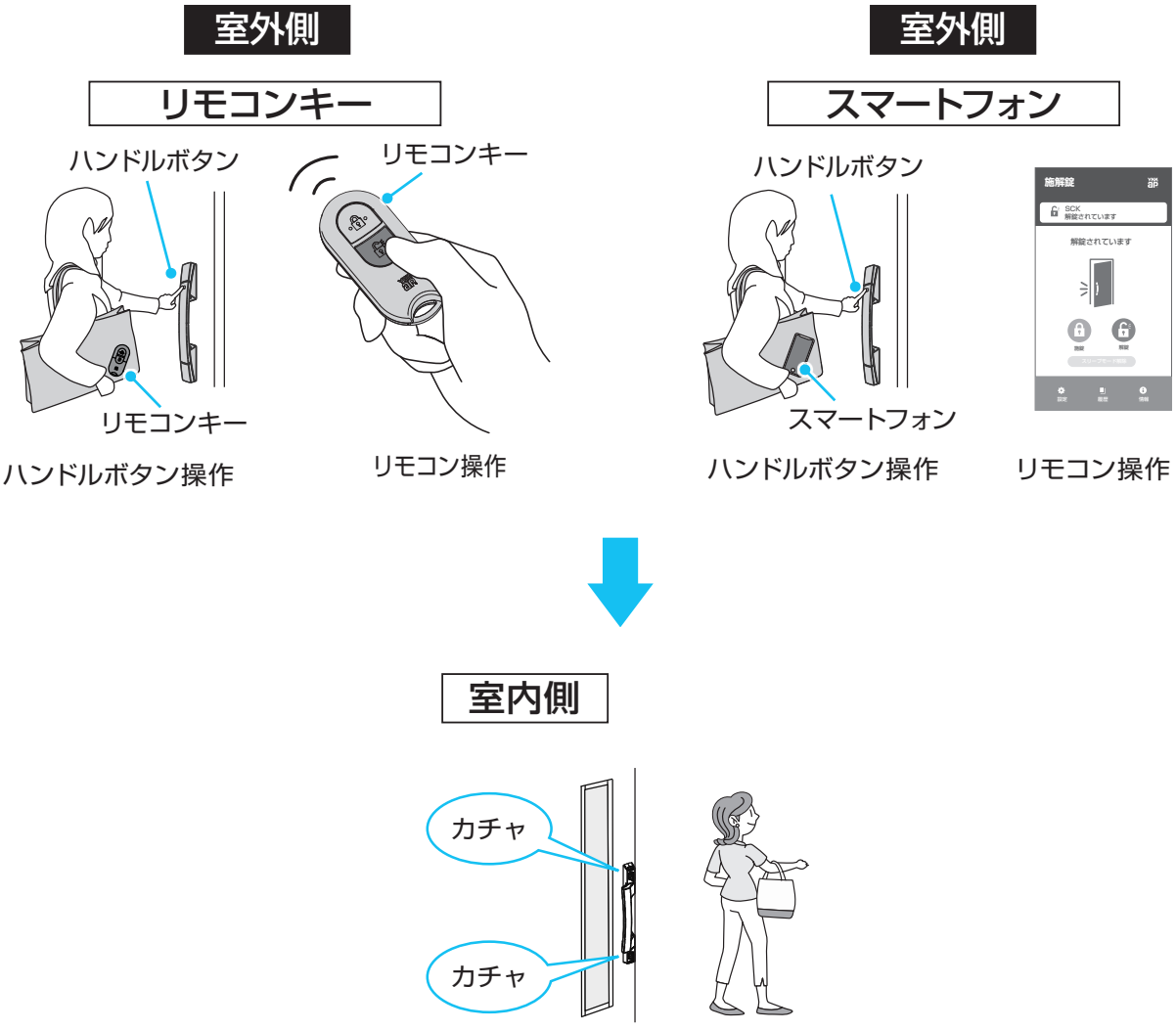
※スリープ機能が搭載されていますが、防犯上、ドアから約３m以内にリモコンキーを保管しないでください。

■自動施錠

- 自動施錠機能を「ON」に設定すると、タグキー/リモコンキー/スマートフォンで解錠操作をした時、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると1秒後に上下2つの錠が自動で施錠されます。
- 工場出荷時点では、**「自動施錠OFF」**に設定されています。
- 自動施錠機能の設定は、「自動施錠機能の設定」（➡P.67）に従って行ってください。
- 自動施錠機能を「ON」にして使用する場合は、閉め出しに対してご注意ください。（「閉め出しに関するご注意」（➡P.38））
  また、不測の事態に備えて必ず非常用カギまたは非常用収納カギを携帯してください。

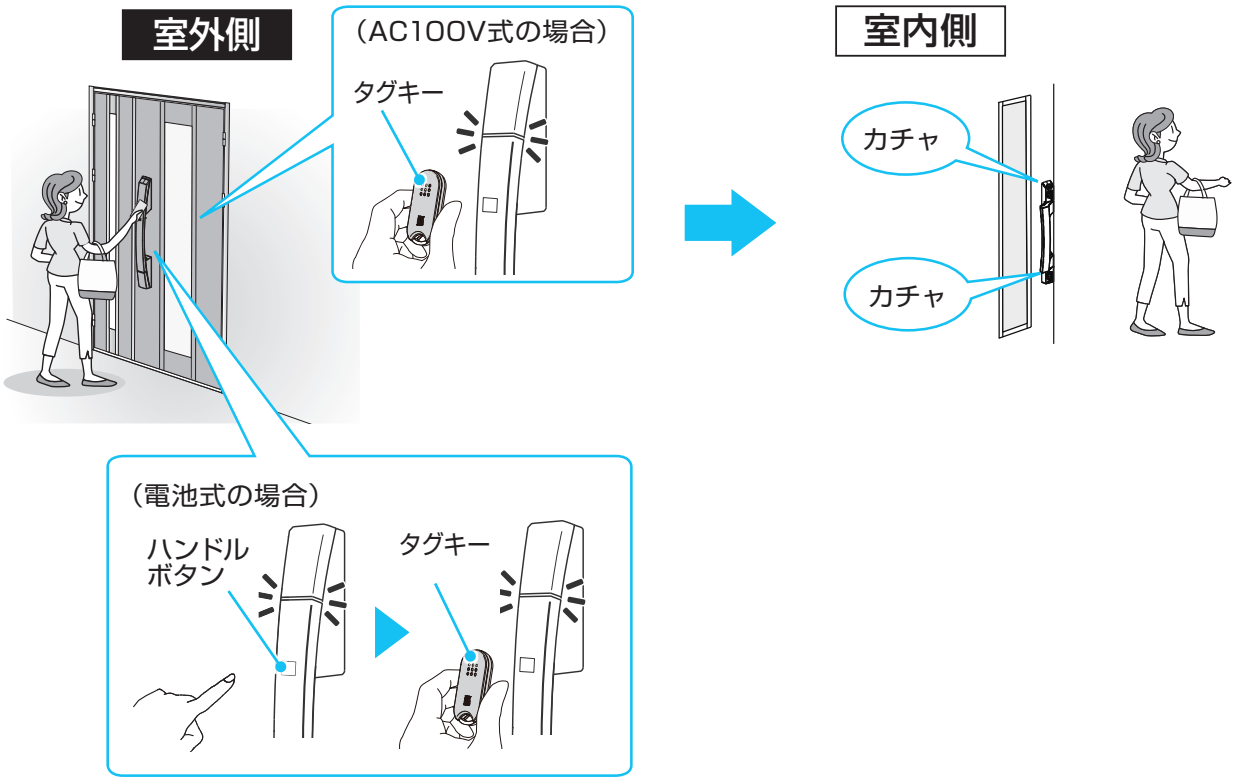
リモコンキー/スマートフォンでの解錠

- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で解錠した場合やリモコン操作で解錠した場合、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると上下2つの錠が自動施錠されます。



タグキーの解錠

- タグキーで解錠した場合、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると上下2つの錠が自動施錠されます。



お願い

- ドアがしっかり閉まっていないと、自動施錠されません。
  自動施錠を設定している場合でも、施錠された事を確認してください。

自動施錠されない例

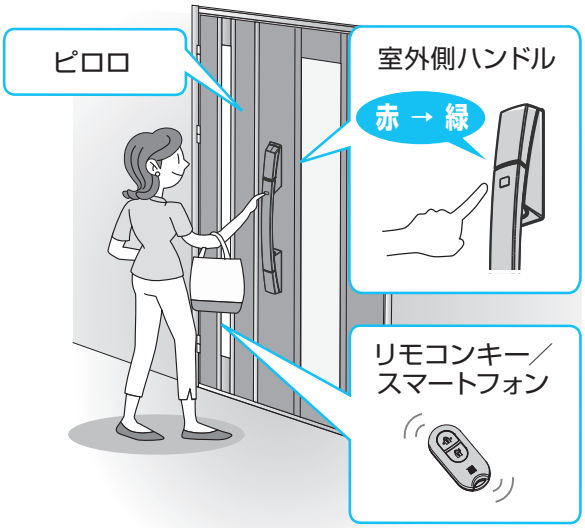
- 非常用収納カギまたは非常用カギやサムターン、操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤（AC100V 式の場合）で解錠した場合は、自動施錠されません。
- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で解錠した場合、リモコン操作で解錠した場合、タグキーで解錠した場合でも扉を 25 秒以上開いたままにすると自動施錠されません。
- 他社製の電気錠操作器または電気錠コントローラーを使用した場合の自動施錠とは機能が異なります。詳しくは各システム機器の取扱説明書をご覧ください。（AC 100V 式の場合）

閉め出しに対するご注意

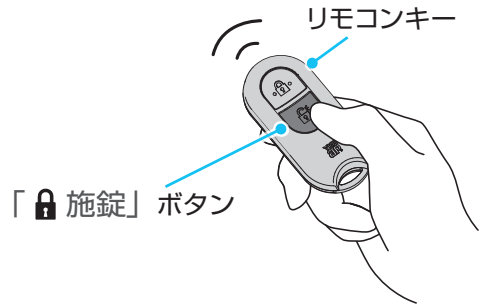
● 自動施錠を設定した場合、タグキー / リモコンキー / スマートフォンで解錠したあと、タグキー / リモコンキー / スマートフォンを室内に置いて外に出てドアを閉めないでください。自動施錠され、閉め出しになります。

室外側

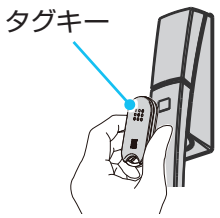
リモコンキー／タグキー／スマートフォンでの解錠



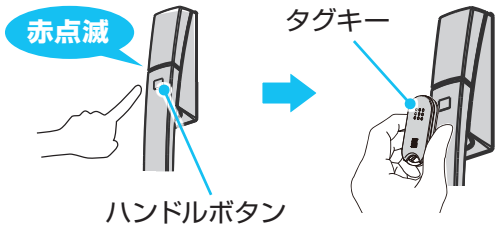
ハンドルボタン操作



リモコン操作



タグキー（AC100Vの場合）

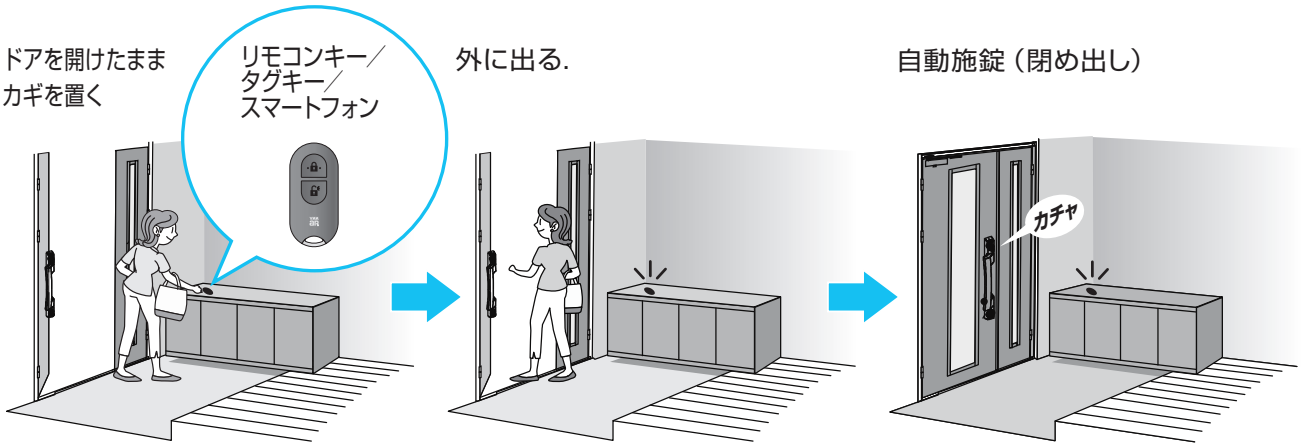


タグキー（電池式の場合）

ドアを開け、室内に入る

室内側

リモコンキー／タグキー／スマートフォンを室内に置いたまま外へ



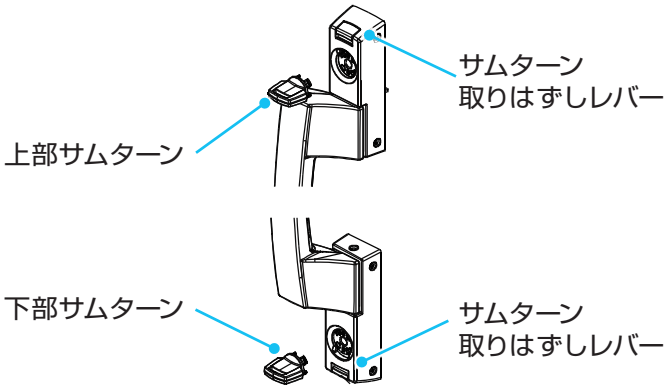
■タイマー施錠機能

- タグキー/リモコンキー/スマートフォン/操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤で上下2箇所とも解錠しても25秒または50秒、ドアが開かなかった場合は、誤操作として再度自動的に施錠します。
- タイマー施錠機能は標準機能です。OFFにすることができません。
- タイマー施錠機能が働くまでの時間（25秒または50秒）を設定できます。
- 工場出荷時点では、「25秒」に設定されています。
- タイマー施錠機能の設定は、「タイマー施錠機能の設定」（➡P.69）に従って行ってください。

■サムターンの脱着

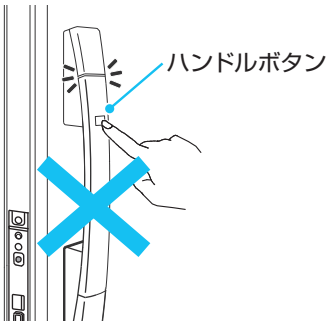
●取りはずしたサムターンは、紛失しないようご注意ください。
●取り付ける時、施錠時はヨコ、解錠時はタテ向きに差し込んでください。

- サムターンはサムターン取りはずしレバーを押して取りはずしができます。
- 外出時・就寝時などに取りはずしておくと、万一ガラスを割られても、サムターンを使った手動操作による解錠ができません。



■ハンドルボタン操作ON／OFF切り替え機能

- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で施錠／解錠する機能をON／OFF切り替えることができます。
- 「OFF」に設定すると、リモコンキー、スマートフォンでのハンドルボタン操作ができなくなります。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- ハンドルボタン操作の設定は、「ハンドルボタン操作の設定」（➡P.73）に従って行ってください。



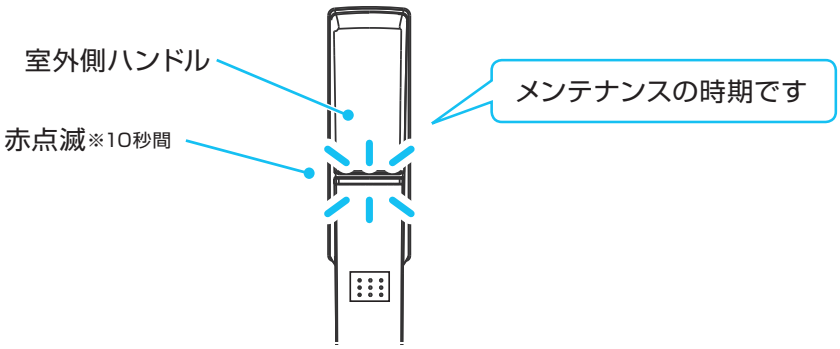
お知らせ機能

■点検時期お知らせ機能

- スマートコントロールキーを長く安心してご使用いただくために定期的に点検をおすすめしています。点検時期については、ハンドルのランプと音声ガイドでお知らせします。
- 点検の時期がきましたら、当社窓口までお問い合わせください。

●電装商品に関するお問い合わせ
0120-177-881

使用を開始してから約10年経過または約10万回開閉されると一定期間、施錠／解錠後に室外側ハンドルのランプが10秒間赤色点滅し、音声ガイドが「メンテナンスの時期です」と案内が流れます。製品が点検時期にきていることをお知らせする機能です。一定期間経過すると通知は終了します。



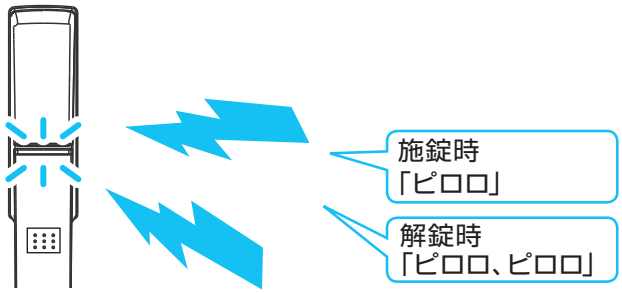
※点検時のお知らせ（赤点滅）は約1週間で通知期間が終了しますが、使用状況により変動します。

※音声ガイドは、点検時期のお知らせが始まってから、タグキー/リモコンキー/スマートフォンでの解錠操作20回まで流れます。

※通知期間中にドアを開けた状態で、登録済みリモコンキーを持ち、ハンドルボタンを5秒間押すか、（電池式の場合はハンドルボタンを押してから）タグキーを5秒間近づけることで、通知期間終了前にお知らせ機能を終了させることもできます。

■動作確認音のON／OFF切り替え機能

- タグキー/リモコンキー/スマートフォンで施錠/解錠する際の動作確認音のON／OFF切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- 動作確認音の設定は、「動作確認音の設定」（➡P.71）に従って行ってください。
- 音声ガイド、エラー音(ブザー音)は消えません。



■音量の大／小 切り替え機能

- 音声ガイドの音量を大／小 切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「大」に設定されています。
- 音量の設定は、「音量の設定」（➡P.75）に従って行ってください。
- 動作確認音、エラー音(ブザー音)の音量は変わりません。

